

県立工業技術センター研究課題評価シート【平成 25 年度】

[採択報告（外部競争資金）]

No.	研究課題名	研究の概要	提案機関へのアドバイス
	主担当部署		
	研究期間		
2	<p>離島・漁村における直流技術による自立分散エネルギーシステム技術の実証研究</p> <p>生産技術部</p> <p>平成 24～26 年度 (3 年間)</p>	<p>地域活性化総合特別区域の指定を受け、「あわじ環境未来島構想」の重点地区である南あわじ市沼島をフィールドとし、直流交流電力変換ロスを最小化する直流給電方式を基本に、定置型バッテリーやモバイルバッテリーの開発による蓄電池投入量の最小化を図るとともに蓄電池等に過度に依存しないための需要管理を組み入れ、全体の投資コストを抑制するエネルギー自立島を構築するための実証実験を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・直流で家電製品が使用可能になればシステム確立の実現が早くなる。早期の実用化を期待する。 ・先駆的な取組として注目されているので期待している。 ・電源の直流化という大きな事業に繋がる研究であり、貴重なデータが得られると期待する。積極的な情報開示を望む。 ・エネルギーの安定供給は今の日本における最大の課題であり、本実証研究の成果により、新しいスタイルのエネルギー供給が実用化されることを期待する。 ・工業技術センターの貢献度をもっとアピールすべきではないか。